

西建協だより

226号

2013年
5月



ごあいさつ

羽村市長 並木 心

西多摩建設業協同組合は、昭和二十四年に創立以来六十年以上にわたり、西多摩地域の発展のため、大きく貢献されてまいりました。

ここに改めて、歴代役員並びに会員の皆様のご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、私事ですが、この度、多くの皆様のご支援をいただき、引き続き四期目の市政を務めさせていただくことになりました。

平成十三年四月に羽村市長に就任以来、三期十二年にわたり、「ひとと心まことに風」をモットーに、市民サービスの向上と羽村市のさらなる発展のため、市政運営に全力で取り組んでまいり

ました。

ました。

昨年は、羽村市の向こう十か年の総合的なまちづくり計画である「第5次羽村市長期総合計画」をスタートさせました。

まちの将来像には、「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」と掲げ、その実現に向けて、子育て支援の一層の充実、生涯学習の推進、防災・防犯対策の強化、産業の活性化、地球温暖化対策、羽村駅西口土地地区画整理事業をはじめとする都市基盤整備など、計画に掲げた数々の施策を展開していま

す。

また、東日本大震災の発生以降、地域防災計画を見直すとともに、建築物や橋梁の耐震化を推進し、さらに避難経路や

西多摩地域の着実な都市基盤整備を推進

西多摩建設事務所所長 杉橋 要

西多摩建設事務所の管内は七割山岳地、三割が市街化で構成され、豊かな自然に恵まれている一方、他には見られない多種多様な行政需要を抱えています。

また、大震災の経験等を踏まえ、防災対策の一層の推進が強く求められております。

そのため、山間部におけるバイパス道路整備や斜面崩落防止、急傾斜・砂防事業、河川の護岸整備などの事業を鋭意進めるとともに、環境にも配慮した道路・橋梁等都市基盤施設の整備を重点的・効果的に進め、災害に強く、安全・安心・快適な施設整備に努め、地域に貢献しております。

今年度は皆様方のご理解ご協力もあり、工事や用地補償などの事業予算は前年度に比べて七・九%増加の約二百億円となっております。公正、効率的に執行

避難場所となる道路や公園の整備を緊急具体的に、今年開催される東京多摩国体の会場でもありますスポーツセンターの耐震改修等工事を昨年度行いましたが、本年は、災害発生時に活動拠点となる市役所西庁舎の耐震補強等の工事を行い構造的な安全性の確保と防災機能を強化してまいります。

そして、防災・減災対策の一層の充実を図る意味でも羽村駅西口土地地区画整理事業を促進し、市民の皆様が、安全・安心して暮らし続けていくために基礎的インフラ整備を進めてまいります。

また、西多摩地域においても各自自治体が連携を強め、西多摩全域が快適で活気のあるさらに魅力的な地域となるよう八市町村長の一首長として努力していきます。

西多摩建設業協同組合の皆様におかれましては、羽村市・西多摩地域発展のため、ご尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

ご尽力くださいますようお願い申し上げます。

の砂防工事、藤原や原の急傾斜事業、土砂災害警戒区域等の新規指定や見直しなどにより、災害を未然に防ぐ取組を進めます。

山岳地域では、多摩川南岸道路、秋川南岸道路の整備を推進し、災害時における避難路の確保と地域交通の円滑化を図っております。

本年三月には地元の皆様のご協力のお陰で奥多摩町の城山トンネルが無事貫通し、連絡路の工事も進んでおります。

また、崩壊の危険度の高い斜面から計画的に道路災害防止工事を実施しており、今年度は三十五箇所

の工事を予定しております。

施工体験記

（株）村尾重機 現場代理人 小林 友典

西多摩郡瑞穂町大字高根二六三番地先から同町大字二本木八八番地先間配水（400m）新設工事

平成二十四年度水道工事業「Jアップコンクール優秀賞」【管路工事（本管）部門】の受賞について

当社では、より多くの方々へ建設工事の大きさを理解して頂ける様に日々考えております。

今回の工事現場では、水道工事の必要性、水道の仕組みについて理解して頂ける様に、施工範囲の近隣住民の方々にお会いしてPR活動を行い、工事の週間工程、施工内容等をわかりやすく伝えることを心がけました。

毎日の道路清掃及び週末の工事範囲内一斉清掃を継続することにより工事現場周辺の環境美化に努め、近隣の小学校において、児童を対象に（写真）水道の仕組みについて工事現場での作業の実演を行いました。

校庭に撤去した古い水道管、新設する新しい水道管、給水管より宅内までの配管の説明を行い、水道水が出来るまでの説明用のPRパネルを作成し説明を行い、終了後、説明

を行いました。

最後に

なりませんが、今回の工事に関係された、協力会社の皆様、工事担当監督員の皆様に感謝を申し上げます。有難うございました。

（2面に続く）



最後に
なりませんが、今回の工事に関係された、協力会社の皆様、工事担当監督員の皆様に感謝を申し上げます。有難うございました。

工事件名

西多摩郡奥多摩町氷川一三五七番地先から同町境三〇番地先間導水管（200m）及び送水管（250m）新設工事

奥多摩建設工業（株）

現場代理人 中嶋 祐太

この度、平成二十四年度東京都水道局長賞の栄誉を賜り、個人並びに会社といたしまして、身に余る光栄と深く感謝しております。

本工事は、東京都水道局様発注の新設村浄水場（仮称）築造工事に伴い、延長約一・二kmに渡り導水管及び送水管を布設する工事です。

ここで水道局では配水のネットワークを進めています。このネットワークが整備されると、断水の被害区域をできる限り小さく

日建学院青梅認定校
 (西建協) からのご案内 受講生募集案内
 ≪青梅認定校 2013年度開講講座≫

- 給水装置工事主任技術者
 受験対策講座を実施します
 平成25年8月～10月(予定)
 毎週月曜・水曜 18:30～20:30
 (曜日が変更の場合あり)
- 2級土木施工管理技士コース
 ・講義日時 基礎講義 6月28日～7月12日(木)
 18時40分～20時10分 毎週 火・木
 本講義 7月17日～10月16日(火)
 18時40分～20時40分 毎週 火・木
- 1級建築施工管理技士 実地コース
 ・講義日程 8月下旬～ 毎週日曜日 16回
- 1級土木施工管理技士 実地本科コース
 ・講義日程 7月下旬～10月初旬 毎週 火・木
- 2級建築施工管理技士コース
 ・講義日時 基礎講義 9月4日～9月18日(火)
 18時30分～20時00 毎週 火・木
 本講義 9月25日～11月4日(日)
 9時00～13時00 毎週 日

詳しい説明及び受講希望の場合は、下記まで連絡ください。
 (受講申込)等の連絡をお待ちしております。
 *詳細説明は随時致します。
 *先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅校(西建協)事務局 0428-22-6245 石川
 日建学院立川校 042-527-3291 担当:澤田

4月事業報告

- 8日 事業委員会
- 12日 広報委員会
- 16日 総務委員会
- 18日 理事会
- 23日 青梅建設業協会 平成25年度定期総会

5月事業計画

- 14日 若手経営者の会 役員会
- 16日 技術安全委員会
- 16日 『正規雇用労働者育成支援奨励金』説明会
 日建学院 青梅校
- 17日 広報委員会
- 20日 総務委員会
- 20日 事業委員会
- 22日 理事会
- 22日 平成25年度(第47回)通常総会
 会場 青梅市総合体育館 第一会議室
- 29日 若手経営者の会 25年度(第19回)定期総会

≪建災防西多摩分会・25年度全国労働安全週間説明会開催≫

日時 6月11日(火) 14時～
 会場 羽村市ゆとろぎ 2階講座室
 ・安全週間実施要綱及び労働災害発生状況等について
 ・建設現場における安全衛生管理等について
 2部 25年度定期総会

くする事ができます。また、浄水場と給水場との間、及び各給水所間を結ぶ送水管についてもネットワーク化を目指し工事を進めています。
 この度の施工現場では、奥多摩むかし道という地域特性を考慮して、通行への細やかな安全確保に加え、奥多摩周辺の観光マップ等の配布、現場周辺のアップ活動を行い、地域住民の皆様水道事業へのご理解を得られるようにいたしました。
 この賞は、東京都水道局多摩水道改革推進本部の関係者各位のご指導・ご鞭撻と、協力会社及び地域住民の皆様のご理解・ご協力のおかげと感謝しております。
 これからも、発注者様・地域の皆様に貢献できる会社となるよう努力してまいります。

奥多摩建設工業(株)

死を招く『熱中症』を防げ!

管理者等による 体調確認 **作業前** **作業中**

平成24年、熱中症による労災保険で治療を受けた労働者は946人で、これら熱中症による労働災害のうち、休業4日以上のは39件で、平成23年に比べて減少しましたが、死亡災害が1件発生。業種別では建設業が約40%を占めています。

熱中症に対しては、正しい知識と適切な予防対策や応急処置が必要です。本格的な夏を迎える前から、熱中症の予防対策を計画的に進めましょう。

◇平成24年発生事例(一部掲載)

: 発生月・時間 : 業種 : 発生時気温(最高気温)

◎7月 10時ごろ 建築工事業 33.0(34.9)
 既存抗撤去のため掘削作業中立ちくらみしたため、病院に行ったところ熱中症と診断された。

◎8月 10時ごろ 土木工事業 30.9(33.0)
 残土仮置場にて、残土受け入れのため、バックホウを操縦していた、同僚がバックホウが突然止まったことに気付き、確認したところ、運転席で痙攣している被災者を発見救急車で搬送した。

*人間は、体内で発生した熱や環境から受けた熱によって体温が上昇しますが、汗をかき、これが蒸発することなどにより維持する機能が備わっています。ところが高温多湿の環境下で激しい運動をすると、体内の熱の放出が十分できず、体温調節機構が崩れ、体の深部体温が上昇してさまざまな症状が現れます。

熱中症を防ぐには! 6月号掲載 建災防西多摩分会

◇講習会のお知らせ◇

東京建設業協会第7支部

現場技術者のための原価低減対策

公共事業費の縮小や、受注競争の激化で建設工事費は厳しくなるばかり。そうした中で、施工管理者だけでなく全社的な原価管理への取り組みが求められています。目指すのは、「会社としてのデーターを蓄積し、次の現場に活かすことができる」「協力会社とともに、切磋琢磨し成長できる」「そこを何とか、もう一押しできる」、そんな現場代理人の養成です。

本講習会ではグループワークも取り入れながら、利益を生み出す具体的な手法を学んでいきます。

開催日 平成25年6月3日 13時～16時30分

会場 立川グランドホテル2階「キャンティ」

講師 降旗 達生氏

ハタコンサルタント(株)代表取締役

建設業界の革新、建設技術者の育成などを支援。建設現場経験者として、現場に即した講演がモットー。「施工で勝つ方法」「今すぐできる建設業の原価低減」(いずれも日経BP社)など著者多数。

対象 若手から中堅までの技術者

受講料 無料 定員 40名

参加申込書、問合せ先 西建協 事務局まで

(会員には5月初旬にメールにてお知らせしました)